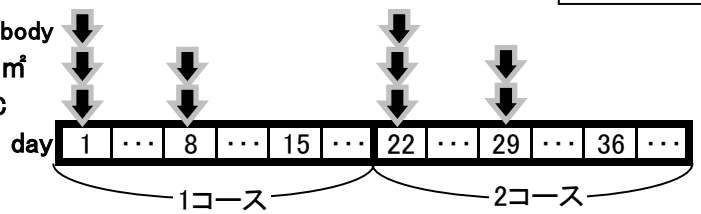
レジメン名	ペムブロリズマブ＋GEM＋CBDCA
がん種	乳癌

一般名	投与量	単位
ペムブロリズマブ	200	mg/body
ゲムシタビン	1000	mg/㎡
カルボプラチン	2	AUC

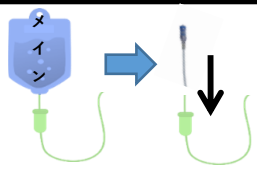
3週で1コース



day1

メイン

曝露防止の観点より、あらかじめメインの輸液から側管用ルートのプライミングを行い、びん針の先に接続チューブをセットして準備する。



生食(250ml)

ルート確保

ルート確保用輸液は、所要時間に合わせて適宜速度調節する。

最後は、針先が抗癌剤を含まない輸液に満たされた後、抜針する。

側管

経過時間

0 / :30 / 1 / :30 / 2 / :30 / 3

30分 ⓝ

キイトルーダ
生食(100ml)
0.2-5μmの
フィルターを使用

等速フラッシュ

生食(50ml)

30分

グラニセトロン
デキサート

30分 ⓘ

ジェムザール
生食(100ml)

1時間 ⓘ

カルボプラチン
生食(250ml)

day8

メイン

生食(250ml)

ルート確保

側管

経過時間

0 / :30 / 1 / :30 / 2 / :30 / 3 / :30 / 4

30分

グラニセトロン
デキサート

30分 ⓘ

ジェムザール
生食(100ml)

1時間 ⓘ

カルボプラチン
生食(250ml)

ジェムザールは溶解後のpHが約 3 と酸性寄りであり、患者様が血管刺激症状を訴えられることがあります。以下のような予防･緩和策が考えられます。

1. 穿刺にはなるべく太い血管を選ぶ
2. 穿刺部位より上流側を温めて、血管を拡張させる
3. ジェムザールの投与中はメイン生食の投与速度を速めて血管内のジェムザールが薄まるようにする